

最適化ソリューションセミナー2012

サイバネットが提供するソリューションの「核」は、最適化技術



『最適化ソリューションセミナー2012』では、サイバネットのユーザー様によるCAEソリューションの活用事例を、「最適化」をキーワードとして発表いただきます。最適化技術を駆使した研究・開発の「現場」にて最前線でご活躍されている方々の生の声が聞けるチャンスです！

また、最適設計支援ツール『Optimus』を1時間で学べるプチ体験セミナー、ご紹介した製品のデモンストレーションコーナーなども予定しております。

最適化ソリューションセミナー2012への皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時: 2012年 7月4日(水) 10:00~16:15

会場: 富士ソフトビル アキバプラザ

主催: サイバネットシステム株式会社

参加費: **無料**

<http://www.cybernet.co.jp/ssc2012/>

ものづくりを支える汎用型最適設計支援ツール

Optimus[®]

CAD/CAEを使った設計プロセスを自動化・統合化・最適化することで、品質向上と開発期間の短縮に貢献します。

自動化

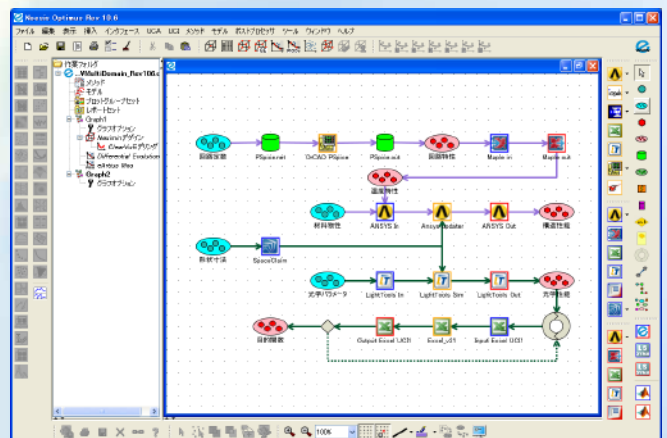
CAEによる繰り返し計算を自動実行します。強力な分散処理機能を搭載し、ユーザの介入なしで夜間・休日を利用した効率的な演算が可能です。

統合化

複数のCADやCAEを組み合わせる異なる領域(アプリケーション)の最適化を実現します。手間のかかるCADやCAE間のデータ受け渡し作業も不要になります。

最適化

目的に応じて使い分け可能な最適化アルゴリズムを豊富に搭載しています。計算効率と高い計算精度を両立した最適化を実現します。



サイバネットシステム株式会社 最適化ソリューションセミナー2012事務局

101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地 富士ソフトビル

Email: cybernet-event@cybernet.co.jp

講演内容

時間	講演タイトル		
10:00 - 10:10	開会のご挨拶		
10:10 - 11:00	技術講演 「サイバネットのCAE技術と最適化設計への取り組み」	サイバネットシステム 株式会社 モデルベース開発推進事業部 テクニカルオフィサー 重松 浩一	
11:00 - 11:30	ユーザー講演 「直動ガイドの数値シミュレーション ANSYS & Optimus による“高精度化”“自動化”“最適化”」	THK 株式会社 技術本部 基礎技術研究所 信頼性研究課 チームリーダー 今井 竜也 氏	Optimus体験セミナー1 (11:00 - 12:00)
11:30 - 12:00	事例紹介 「バックライト設計で利用できる新しい最適化ソリューション ～ OptimusのLightToolsダイレクトインターフェースと利用 ～」	サイバネットシステム 株式会社 オプティカル事業部 技術部 技術第2グループ 笹川 平久	
12:00 - 13:15	ご昼食		
13:15 - 14:15	基調講演 「最適化技術が拓く設計・開発」	早稲田大学 理工学術院長 山川 宏 氏 (創造理工学研究科教授 総合機械工学専攻)	
14:15 - 14:45	ユーザー講演 「反復最適化手法によるパワーコンディショナ用地絡検知回路のロバスト設計」	三菱電機株式会社 住環境研究開発センター 設計・品質技術開発部 設計技術開発グループ 安部 亮輔 氏	
14:45 - 15:00	ご休憩		
15:00 - 15:30	ユーザー講演 「Optimus-MapleSimによるタイミングベルト特性の同定」	GEヘルスケア・ジャパン株式会社 機構設計部 MRMEグループ アドバンスド メカニカルチーム リーダー 舞田 正司 氏	Optimus体験セミナー2 (15:00 - 16:00)
15:30 - 16:00	事例紹介 「渦電流センサによる導電率検知回路の定数最適化解析」	サイバネットシステム 株式会社 EDA事業部 EDA技術部 アプリケーショングループ 太田 淳也	
16:00 - 16:15	閉会のご挨拶		

※講演内容については予告無く変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

基調講演



「最適化技術が拓く設計・開発」

早稲田大学
理工学術院長 山川 宏 氏
(創造理工学研究科教授 総合機械工学専攻)

近年におけるコンピューターのハードウェアやソフトウェアの長足の進歩は、機械機器や構造物の設計・開発に際してコンピューターは必要かつ不可欠の道具となっています。東日本大震災やヨーロッパの金融不安など我が国の製造業においては、これまでにない厳しい環境の下、欧米のみならず、近隣の中国、韓国などの競争を余儀なく強いられています。このような状況下で近年、発達して実用に供されている最適化技術は我が国の製造業の今後の活路を提供するものと期待されています。

そこで本講演では最適化技術の今後の設計・開発への活用として

1. 複合領域の最適設計の問題点と今後
2. 統合化設計・生産過程の中の最適化技術の活用
3. 最適化技術の同定問題への活用
4. 最適化技術の制御問題への活用

などのテーマを取り上げ、例とともに平易な解説を行います。

技術講演



「サイバネットのCAE技術と最適化設計への取り組み」

サイバネットシステム 株式会社
モデルベース開発推進事業部
テクニカルオフィサー 重松 浩一

弊社は「つくる情熱を、支える情熱。」をコーポレートメッセージに、詳細な製品設計のためのCAE技術から数式処理技術を利用したMaple / MapleSimのシステム解析技術、さらに最適設計を実現するためのOptimusまで幅広いツールを提供、また専門的な技術サービスを通してお客様のものづくりに貢献しています。

本講演では私達の提供する製品設計のためのシミュレーション技術、さらに最適設計に対するソリューションについて実例を含めご紹介いたします。